

事務事業調書

平成26年度

事業No	346	課	健康推進課	係	母子保健係	起案者	壁谷依世
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	妊婦相談指導事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 2 母子保健 1 安全快適な妊娠出産の確保 1 妊婦相談体制、情報提供の充実			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-5-40	
				総合計画以外の計画	第2次健康日本21安城計画他	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	母子保健法 第1条、第5条、第9条、第10条、第15条、第16条				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	H23年12月議会 便色調カラーカードについて				
陳情・市民要望	有	北部出張所での母子健康手帳交付と、昼休憩や時間外対応				
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成04年度	経過	22年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	妊産婦が		~になる	妊娠・出産・育児の上で必要な情報を得たり相談することができる	
事務事業の内容	母子健康手帳交付と妊婦指導…妊娠届出書を受取り、母子健康手帳を交付します。母子健康手帳の活用や制度について説明し、必要な保健指導や、妊娠・出産の不安や心配について相談を行います。すべて個別対応にて実施しています。 妊産婦相談…妊産婦に対し、保健師・管理栄養士・歯科衛生士が保健指導、相談を行います。					
改善・対策の履歴	母子健康手帳交付時にマタニティマークのキーホルダーとシールを配布しています。妊婦が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲の人の妊婦への配慮を促しています。平成25年8月から妊娠届出書及び妊娠届出書アンケートからハイリスク要因の点数化(県下統一方法)をし、ハイリスク妊婦への妊娠中からの保健指導や訪問指導を充実させました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	9,287	11,221	11,366	11,310	13,162
財源計	782	763	845	789	877
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	782	763	845	789
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	8,505 (1.35)	10,458 (1.66)	10,521 (1.67)	10,521 (1.67)	12,285 (1.95)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	母子健康手帳の交付	見込	2,200.00	2,250.00	2,250.00	2,200.00
			実績	2,279.00	2,168.00	2,158.00	
	指標名 (単位)	手帳交付数(冊)	活動の総事業費(千円)	4,562	4,228	4,253	
			活動にかかるコスト(千円)	2.00	1.95	1.97	
活動2	活動名 (活動内容)	妊産婦相談	見込	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
			実績	2,362.00	2,193.00	2,168.00	
	指標名 (単位)	相談件数(件)	活動の総事業費(千円)	4,725	6,993	7,056	
			活動にかかるコスト(千円)	2.00	3.19	3.25	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	妊産婦健康指導相談件数(件)			目標	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
				実績	2,362.00	2,193.00	2,168.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	3,170.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>妊娠11週までの妊娠届出の割合は、H25年度95.1%で、妊娠届出書アンケートにより妊婦の心配事を把握し、より早期からの母親支援を実施できています。平成25年8月から始まった、妊娠届出書アンケートにより、妊婦の情報量が増え、母子健康手帳交付に携わっている保健師の妊婦相談の質を上げることができました。</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<p>妊産婦相談の相談件数は減りましたが、妊娠届出書アンケートからハイリスク妊婦を発見するため、妊産婦相談の時間や記録にかかる人件費や保健師間でのケース検討などでの人件費が増えたため活動コストが上がりました。</p>
成果	<p>母子健康手帳交付時のアンケート活用により要支援者の把握が進み、妊娠中からの支援や、出産後の赤ちゃん訪問などの支援へとつなげるスキルが上がっています。</p>

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>要支援者の把握から支援へつなげるスキルを実践し、妊娠中から継続的な支援をしていきます。市民にマタニティマークを知ってもらうため、啓発方法を検討していきます。母子健康手帳の交付は、交付時間に来所できない場合も対応していきます。育児不安や虐待の原因となる「赤ちゃんの泣き」に適切に対応するためのDVD「赤ちゃんの泣きについて」を活用し、理解を深めます。働く妊婦さんのための母性健康管理指導事項連絡カードの活用を事業所等に啓発していきます。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>継続して早期の妊娠届出を啓発していきます。妊娠届出書アンケートにより要支援者を把握し、より早期からの母親支援を実施していきます。妊産婦相談においては妊娠中から不安や悩みのある人を的確に把握し支援につなげられるよう継続して実施していきます。</p>

事務事業調査

平成26年度

事業No	355	課	健康推進課	係	母子保健係	起案者	深津佑美	
						決裁者	小笠原浩一	
事務事業名					妊婦交流事業	事業種別		市民サービス

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 2 母子保健 1 安全快適な妊娠出産の確保 2 妊娠期からの仲間づくりへの支援			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		20-5-40
				総合計画以外の計画		第2次健康日本2 1 安城計画他
				関連する総合計画の施策		2-1-2-1-2
				性質区分		法律などで実施が義務付けられているもの
根拠法令	有	母子保健法 第1条 第5条				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成18年度	経過	8年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	妊婦が			~になる	交流により、妊娠期の悩みや産後の育児不安が軽減される。
事務事業の内容	マタニティサロンでは、妊婦さん同士の交流を通じて、情報交換をしたり、友達づくりをします。マタニティクッキング、体験しよう子育て教室、パパママ応援教室、赤ちゃんサロンと同時開催することで、絵本の読み聞かせや、赤ちゃんの保護者からの体験談などの情報交換や、赤ちゃんとふれあう機会を通じ不安の軽減を図ります。					
改善・対策の履歴	赤ちゃんサロンと同時開催のマタニティサロンでは、シルバーカレッジ(生涯学習課実施)の参加者の方にボランティアの協力をしていただき毎回2名から3名参加いただきました。また、妊婦さん同士の交流ができるよう、ボランティアさんから妊婦さんへ声かけをするなどの配慮をしていただきました。他の事業と併せて行うことで、参加者を増やすよう工夫しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	260	228	230	227	293
財源計	71	39	41	38	41
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	71	39	41	38
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	189 (0.03)	189 (0.03)	189 (0.03)	189 (0.03)	252 (0.04)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	マタニティサロン	見込	240.00	240.00	240.00	450.00
			実績	354.00	470.00	441.00	
	指標名 (単位)	参加者数(人)	活動の総事業費 (千円)	260	228	227	
			活動にかかるコスト (千円)	0.73	0.49	0.51	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	マタニティサロン参加率(%)			目標	12.00	12.00	12.00	12.00
				実績	16.00	22.30	21.00	
	目標達成年度	平成25年度	目標成果指標値	12.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	不安が軽減できた人の率(%)			目標	93.00	94.00	94.50	95.00
				実績	93.00	95.40	93.70	
	目標達成年度	平成25年度	目標成果指標値	94.50	達成状況	達成	達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	友達づくりのために参加された方は、「妊婦さん同士の交流ができ、友達ができ良かった。毎回来たい。」という意見が聞かれました。赤ちゃんサロンや親育て教室との同時開催では、赤ちゃんを抱っこさせてもらうことや保護者との情報交換や交流ができていました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	赤ちゃんサロンとの同日開催は見込みより参加人数が集まらず、「マタニティクッキング」や「体験しよう！親育て教室」、「パパママ応援教室」の妊婦さんの集まる機会に交流を取り入れることで、総事業費を増やすことなく実施できています。
成果	妊婦さん対象の事業の中で参加者同士の交流ができるように内容を工夫し、不安の軽減につながりました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
各事業の中で妊婦さんが交流できる機会を設けていきます。コスト面では、引き続きボランティア（無償）を依頼し経費節減に努めます。参加者を増やすための工夫について検討していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
縮小・統合	妊婦さんとその夫を対象とした教室などの機会を利用して、妊婦さんの交流の場を開催し、情報交換を行うことにより、不安の解消ができるように継続して実施していきます。妊婦さんを対象とする他事業と併せて妊婦さん同士の交流ができるよう進めていきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	347	課	健康推進課	係	母子保健係	起案者	深津佑美
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	パパママ教室事業			事業種別	市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 2 母子保健 1 安全快適な妊娠出産の確保 1 妊婦相談体制、情報提供の充実		予算科目(会計)	一般会計
			予算科目(款・項・目)	20-5-40
			総合計画以外の計画	第2次健康日本21安城計画他
			関連する総合計画の施策	
			性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの
根拠法令	有	母子保健法 第1条・第5条、第9条		
法定受託事務	無			
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			
実施方法	直営	委託先		
実施期間	開始	昭和63年度	経過	26年目
			終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	妊婦とその夫(または家族)が		~になる
		妊娠、出産、育児の正しい知識を得て、協力して子育てができる。		
事務事業の内容	【パパママ応援教室】沐浴、栄養、歯の健康管理について学ぶ機会として開催しています。妊娠・出産後の心身の変化や育児をイメージしやすい内容となっています。 【体験しよう！親育て教室】育児経験者との交流を通し、出産・育児の具体的な情報交換の機会をつくっています。妊娠中の生活や育児について体験を通して学べる内容となっています。また、思春期保健事業として、高校生がボランティア参加し、妊娠・出産・育児について学べる機会を設けています。			
改善・対策の履歴	パパママ応援教室については、会場設営も一部変更し、年間18組の参加枠を増やしました。さらに参加枠を増やすよう開催方法の検討もおこないました。妊婦とその夫が参加しやすい土、日の開催を継続しています。初妊婦への個別通知を実施し参加を促しています。			

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,718	2,758	2,810	2,764	4,871
財源計	135	175	227	181	335
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	135	175	227	181
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,583 (0.41)	2,583 (0.41)	2,583 (0.41)	2,583 (0.41)	4,536 (0.72)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	パパママ応援教室	見込	504.00	522.00	555.00	610.00
			実績	346.00	488.00	487.00	
	指標名 (単位)	参加者数(人)	活動の総事業費 (千円)	1,173	1,219	1,244	
			活動にかかるコスト (千円)	3.39	2.50	2.55	
活動2	活動名 (活動内容)	体験しよう！親育て教室	見込	431.00	448.00	450.00	430.00
			実績	333.00	437.00	400.00	
	指標名 (単位)	参加者数(人)	活動の総事業費 (千円)	1,545	1,539	1,520	
			活動にかかるコスト (千円)	4.64	3.52	3.80	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	パパママ教室参加者数(人)			目標	935.00	970.00	1,005.00	1,040.00
				実績	679.00	925.00	887.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	1,068.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2	育児講座への男性の参加割合(%)			目標	31.00	32.00	32.00	33.00
				実績	25.80	36.30	35.30	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	33.00	達成状況	未達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>パパママ応援教室は、妊婦の夫が参加しやすいよう土日開催をしています。教室アンケートでの不安の軽減は96.6%となっており、夫の満足度は「満足」、「ほぼ満足」が92.2%でした。体験しよう！親育て教室は、教室全体の満足度としては「満足した」が60%、「ほぼ満足した」が30%となっています。妊婦は経験者から話が聞けて「不安が軽減できた」、産婦は「他の参加者と交流できたことがよい気分転換になった」、夫や父では「育児協力の意識が高まった」という感想が多くありました。</p>
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<p>パパママ応援教室は、講師依頼回数が増えたため、事業費が増え、活動コストは若干増加しています。体験しよう！親育て教室は、2月開催時の悪天候により参加者数が少なく、全体の参加人数が減り、単価コストが若干上がっています。</p>
成果	<p>パパママ教室参加者数の実績が目標に達していない要因としては①パパママ応援教室の参加人数が、8月開催時のみ定員に達していなかったこと②初妊婦に個人通知していますが、パパママ応援教室は、1回に実施可能な人数に限界があること③体験しよう親育て教室の参加者数が減少したこと、が考えられます。</p>

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>パパママ応援教室は参加枠を増やしましたが、それ以上に希望者がありキャンセル待ちが続いているため、会場を工夫し、さらに参加枠を増やして実施していきます。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>子育て支援の観点から、夫婦で協力して育児する意識を高め、必要な知識を習得していただくために大切な事業であり、参加を希望した方全員が参加できるよう実施方法、内容の見直しをしながら継続していきます。また、体験しよう！親育て教室においては妊婦さんと赤ちゃんと両親との交流や、思春期年代の高校生がボランティアとして参加する中で生命の大切さや妊娠・出産・育児について学ぶ機会としていけるよう参加を継続していきます。</p>

事務事業調書

平成26年度

事業No	348	課	健康推進課	係	母子保健係	起案者	深津佑美
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	妊婦健診事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 2 母子保健 1 安全快適な妊娠出産の確保 4 妊婦健診の重要性の周知			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-5-40	
				総合計画以外の計画	第2次健康日本2 1 安城計画他	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	母子保健法 第1条、第5条、第13条				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	平成22年9月定例会 妊婦健診事業受診回数				
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	その他(安城市医師会、愛知県医師会、国保連合会)			
実施期間	開始	平成09年度	経過	17年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	妊産婦が		~になる	健診を受け妊娠中、産後を健康に過ごすことができる。	
事務事業の内容	医療機関や助産所で実施される妊婦健康診査14回分、子宮頸がん検診1回、産婦健康診査1回(受診票裏面の検査項目)を限度額範囲で公費で助成します。県外受診の方には健診費用(受診票裏面の検査項目)を払い戻しをします。歯科健診及びブラッシング指導を無料で受けられます。H23年度まで保健センターにて集団健診(妊婦・産婦)、H24年度から市内歯科医療機関にて個別健診(妊婦)を実施しています。					
改善・対策の履歴	【医科健診】県補助金事業は平成24年度中の健診実施分をもって終了となりましたが、市単独事業として従来どおり妊婦健診の助成回数を妊婦14回、子宮頸がん検診1回、産婦健康診査1回の助成をしています。広報あじょうにて、妊婦健診受診勧奨の記事を掲載し、PRしました。 【歯科健診】受診者を増やすため、個別通知にて受診勧奨をしました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	214,335	221,430	240,050	213,211	238,338
財源計	211,059	217,020	235,640	208,801	234,243
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	51,707	53,990	0	7,712
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	1	2
	一般財源	159,352	163,030	235,639	201,087
受益者負担金	0	0	1	2	1
職員人件費(従事職員数)	3,276 (0.52)	4,410 (0.70)	4,410 (0.70)	4,410 (0.70)	4,095 (0.65)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	妊婦健診14回・子宮がん検診・産婦健診	見込	20,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00
			実績	27,378.00	27,916.00	26,659.00	
	指標名 (単位)	受診件数(件)	活動の総事業費(千円)	203,081	207,824	199,529	
			活動にかかるコスト(千円)	7.42	7.44	7.48	
活動2	活動名 (活動内容)	妊婦歯科健診	見込	310.00	770.00	780.00	787.00
			実績	257.00	775.00	765.00	
	指標名 (単位)	受診者数(人)	活動の総事業費(千円)	1,692	4,626	4,530	
			活動にかかるコスト(千円)	6.58	5.97	5.92	
活動3	活動名 (活動内容)	妊婦健診受診票(償還払い)	見込	600.00	400.00	400.00	300.00
			実績	310.00	302.00	310.00	
	指標名 (単位)	受診件数(件)	活動の総事業費(千円)	9,562	8,980	9,070	
			活動にかかるコスト(千円)	30.85	29.74	29.26	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	妊娠11週までの妊娠届出率(%)			目標	61.00	64.00	67.00	70.00
				実績	93.90	95.30	95.10	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	70.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	歯科健診の受診率(%)			目標	7.30	37.00	37.50	37.80
				実績	6.10	37.40	36.70	
	目標達成年度	平成35年度	目標成果指標値	41.00	達成状況	未達成	達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>【医科健診】妊婦健診費を助成することで個人の経済的負担を軽減できるため、早期に妊娠の届出をする人の割合が増加しています。妊娠の状態を知ることができ、赤ちゃんへの感染の予防に努めることなど悪影響を未然に防ぐことができます。胎児の発育状況も確認できます。また、妊娠早期から定期的に受診することで母親としての自覚を徐々に高められます。</p> <p>【歯科健診】ブラッシング指導により歯肉の腫れや出血等の症状を軽減できます。妊婦だけでなく、子どもの歯科衛生への関心も高まり、かかりつけ歯科医を持つきっかけにもなります。</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<p>【医科健診】事業費が減り、受診件数が減ったため、活動コストが上がりました。償還払いは申請件数が若干増えましたが、事業費が減ったため、活動コストが下がりました。事業費が減った要因は、1件あたりの支払額が限度額を下回っているためと思われます。</p> <p>【歯科健診】受診人数が若干減ったため、事業費が減り、活動コストが下がりました。</p>
成果	<p>【医科健診】妊娠11週までの早期届出率は95.1%であり、早期の届出により適切な時期に妊婦健診を受けることができ、経済的負担が軽減されます。</p> <p>【歯科健診】個別健診にすることで、受診する機会(日時、場)が広がったため、健診が受けやすくなりました。</p>

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>【医科健診】妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減のために、妊婦健診回数14回・子宮頸がん検診1回、産婦健診1回の助成を継続していきます。</p> <p>【歯科健診】個別健診の実施と受診勧奨通知を継続して行っていきます。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>【医科健診】妊娠中、産後の健康管理に役立てられる健診となるよう、継続実施していきます。</p> <p>【歯科健診】引き続き、歯科医療機関での個別健診を実施していきます。</p>

事務事業調書

平成26年度

事業No	349	課	健康推進課	係	母子保健係	起案者	田中敦子
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	乳幼児健診事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 2 母子保健 2 乳幼児の健康の保持増進 1 乳幼児健診			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-5-40	
				総合計画以外の計画	第2次健康日本21安城計画ほか	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	母子保健法 第1条、第5条、第12条・第13条				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	3期目市長マニフェスト 未受診者の状況把握				
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	その他(県医師会)			
実施期間	開始	平成09年度	経過	17年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	乳幼児とその保護者が		~になる	異常の早期発見、育児不安の軽減、健康の保持増進ができる。	
事務事業の内容	乳児期における4か月児健診と医療機関での2回の乳児健診により、異常の早期発見に努め、乳児の健康の維持増進を図ります。幼児期において身体発達及び精神発達の両面から重要な時期である1歳6か月児・3歳児に対して、医師・歯科医師等による総合的健康診査を実施してその結果に基づき、指導・相談を行います。身体発達及び精神発達について保護者とともに確認し、また、保護者の育児上の困難について不安を軽減解消できるよう支援することで虐待予防にも努めています。集団健診においては未受診者への受診勧奨と状況把握を行っています。					
改善・対策の履歴	未受診者対策は、関係機関の協力により確実な把握に努め、必要な支援につなげています。虐待予防の観点で踏まえ、乳幼児健診のおたずね表の見直しを行いました。図書館事業として4か月児健診時にブックスタートが始まりましたが、健診とのトラブルもなく円滑に進めることができました。また乳児健康診査受診票第2回を利用した医療機関での受診率が他の乳幼児健診に比べ低いため、毎月7か月になる子に受診勧奨のチラシの送付を継続しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	68,412	64,727	68,074	64,502	69,410
財源計	43,905	44,189	47,536	43,964	48,305
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	43,905	44,189	47,536	43,964
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	24,507 (3.89)	20,538 (3.26)	20,538 (3.26)	20,538 (3.26)	21,105 (3.35)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	3歳児健診	見込	48.00	48.00	48.00	48.00
			実績	48.00	48.00	48.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	19,263	18,442	18,462	
			活動にかかるコスト(千円)	401.31	384.21	384.63	
活動2	活動名 (活動内容)	1歳6か月児健診	見込	48.00	48.00	48.00	48.00
			実績	48.00	48.00	48.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	19,548	17,516	17,669	
			活動にかかるコスト(千円)	407.25	364.92	368.10	
活動3	活動名 (活動内容)	4か月児健診	見込	48.00	48.00	48.00	48.00
			実績	48.00	48.00	48.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	9,960	8,817	8,887	
			活動にかかるコスト(千円)	207.50	183.69	185.15	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	1歳6か月児健診受診率(%)			目標	96.90	97.00	97.10	97.10
				実績	97.40	98.50	98.60	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	97.10	達成状況	達成	達成	達成
成果2	3歳児健診受診率(%)			目標	95.20	95.40	95.60	95.60
				実績	97.90	99.00	97.70	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	95.70	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	未受診対策事業が円滑に進み、健診の受診率が上がっているだけでなく、健診を受診できない児に対して保健師による状況確認を行い、必要な支援につなげることができています。また健診は状況に応じて流れを変えるなどの配慮をすることで短時間で終われるように対応しています。また3歳児健診では精密検査の必要な児が適切に医療機関につながるよう紹介状の交付数が増えています。第2次健康日本21安城計画で目標としている乳児健康診査第2回の受診率は79.7%から91.3%に上がっています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	各活動の共通事業費は、母子健康カードの見直しに伴い共通消耗品を購入したことでの事業費の増加、健診通知と通知用封筒の印刷費の単価が下がったため事業費の削減がありました。3歳児健診では開催回数は同様でしたが尿検査機械を購入したことでの事業費が増加しました。また各健診とも短時間で終われるよう工夫しているため人件費の増加を防ぐことができ、開催回数はH24年度と同様だったため、単位コストはほぼ同様となっています。
成果	平成23年度から、受診勧奨を強化して継続した結果、4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診はいずれも高い受診率を保ち目標値を達成しています。また疾患等により健診での個別な配慮が必要な児に対して、別室対応などを行い受診の意思がある児についてはできる限り対応することで、より多くの児が健診を受診できました。また生後7か月で乳児健康診査第2回の受診勧奨を行ったことで、受診率が上がりました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
今後は保健センター改修中のプレハブでもスムーズに健診が行えるよう、人的配置、健診の流れ等を見直し、少しでも短時間で満足した健診になるよう検討していきます。精密検査の必要な児が適切に医療機関につながるよう医師に健診マニュアルの周知を定期的に行ったり、紹介状の返信率を上げるようその後のフォローを検討していきます。また乳児健康診査第2回の受診率の推移を見ながら、受診勧奨チラシの送付を継続します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	健診には、異常や発達の遅れなどを早期に発見し必要な治療、支援へつなげることはばかりでなく、育児支援も求められています。健診を丁寧に実施すれば時間とコストがかかることとなります。人的配置、健診の流れの効率化を常に研究し、また、フォローや未受診対策についても確実にできるよう幼保園や民生・児童委員等との連携を密にし、方法を改善しながら継続実施していきます。今後の保健センター改修に向けて、人的配置、健診の流れ等を検討していきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	350	課	健康推進課	係	母子保健係	起案者	杉山舞
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	乳幼児健診事後指導事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 2 母子保健 2 乳幼児の健康の保持増進 2 障害等の早期発見とその支援			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-5-40	
				総合計画以外の計画	第2次健康日本21安城計画他	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	母子保健法 第1条・第5条、第10条、				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	H21年3月議会 療育行政(問題のある子への事後指導)				
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	1歳6か月児健診を受けた児が		~になる	発達段階において必要時適切な支援を受けることができる。	
事務事業の内容	1歳6か月児健診事後指導会は、1歳6か月児健診及び発達心理相談の結果、発達や育児に不安のある親子に、集団指導を行います。発達心理相談は、1歳6か月児健診、3歳児健診にて支援が必要と判断した幼児や、保護者から相談のあった幼児の個別相談を行います。2歳アンケートは、1歳6か月児健診にて2歳時の発達確認が必要と判断された児に、郵送によるアンケートで児の様子を確認し、必要な支援へ結びつけます。う蝕予防のため、1歳6か月児健診でう蝕になりやすい生活習慣があった児に対し、う蝕予防啓発の個人通知を行っています。					
改善・対策の履歴	発達心理相談の日程を増加し相談可能件数を増やしたことで、1週間から1ヶ月以内に相談ができる状態を維持できています。また、う蝕予防啓発の個人通知に2歳児の歯科健診とフッ化物塗布の日程の案内チラシを同封し送付しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	14,784	14,751	15,671	15,381	15,841
財源計	3,948	3,852	4,772	4,482	4,816
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	3,948	3,852	4,772	4,482
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	10,836 (1.72)	10,899 (1.73)	10,899 (1.73)	10,899 (1.73)	11,025 (1.75)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	1歳6か月児健診事後指導会	見込	300.00	300.00	400.00	400.00
			実績	390.00	453.00	491.00	
	指標名 (単位)	累積出席者数(人)	活動の総事業費 (千円)	5,853	5,205	5,283	
			活動にかかるコスト (千円)	15.01	11.49	10.76	
活動2	活動名 (活動内容)	2歳(発達)アンケート	見込	300.00	300.00	350.00	400.00
			実績	486.00	400.00	433.00	
	指標名 (単位)	発送件数(件)	活動の総事業費 (千円)	4,771	5,846	5,640	
			活動にかかるコスト (千円)	9.82	14.62	13.03	
活動3	活動名 (活動内容)	う蝕予防啓発の個人通知	見込	1,000.00	1,200.00	1,400.00	1,400.00
			実績	1,011.00	1,355.00	1,326.00	
	指標名 (単位)	送付数(件)	活動の総事業費 (千円)	2,479	713	723	
			活動にかかるコスト (千円)	2.45	0.53	0.55	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	2歳時発達フォロー者把握率(発達)(%)			目標	90.00	90.00	90.00	97.00
				実績	79.60	93.80	98.40	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	97.00	達成状況	未達成	達成	達成
成果2	3歳児健診でう蝕のある児の率(%)			目標	10.00	10.00	10.00	12.20
				実績	14.20	13.00	13.90	
	目標達成年度	平成35年度	目標成果指標値	5.00	達成状況	未達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>1歳6か月児健診事後指導会では、ほとんどの児が2歳代前半までに参加できており、参加期間3か月間で療育が必要な親子をスムーズに療育につなげており、早期に療育開始ができています。発達心理相談の相談可能件数を増やし、発達心理相談を予約してから実施までの期間の短縮を図りましたので、保護者が心配を持たれたタイミングでの相談実施に結びついています。</p>
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<p>1歳6か月児健診事後指導会では、参加児数が増加したためコストが下がりました。 2歳(発達)アンケートは、一部の業務を心理相談員から保健師に変更し人件費削減に努めましたので、対象者が増加したにも関わらず事業費が下がり活動コストも下がりました。 う蝕予防啓発の個人通知は対象者が横ばいのため、単価コストもほぼ横ばいとなっています。</p>
成果	<p>2歳(発達)アンケートは、未返送家庭へ保健師が積極的に連絡をとり、児の状況把握をすることで、状況確認の徹底ができ、把握率が上がり目標を達成できています。このことで、1歳6か月児健診事後指導会では、ほとんどの子が2歳代前半までに参加できており、適切な時期に支援が行われています。 3歳児健診でう蝕のある児の率は、H15 21.7%、H20 16.3%と10年前から比較すると減少しており、H25は目標未達成ではありますが、本事業を含む一連の歯科保健事業により改善傾向にあります。</p>

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>発達心理相談については、現在の予約できるタイミングを維持していきます。う蝕予防啓発の個人通知は、他の歯科保健事業案内とも合わせて今後も継続していきます。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>1歳6か月児健診事後指導会、2歳(発達)アンケート、発達心理相談は現在の状況を維持しながら実施していきます。 う蝕予防啓発の個人通知も一連の歯科保健事業の中の一つとして、引き続き実施していきます。</p>

事務事業調査

平成26年度

事業No	351	課	健康推進課	係	母子保健係	起案者	橋本明子
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	育児相談指導事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 2 母子保健 3 子育て環境の整備 1 育児相談体制、情報提供の充実			予算科目(会計)	一般会計
				予算科目(款・項・目)	20-5-40
				総合計画以外の計画	第2次健康日本21安城計画他
				関連する総合計画の施策	2-1-2-3-1
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの
根拠法令	有	母子保健法 第1条・第5条、第9条・第10条			
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				
実施方法	直営	委託先			
実施期間	開始	経過	終了	期間	
求める成果(目的)	誰(受益者)が	乳幼児の保護者が		~になる	育児不安の軽減ができ、仲間づくりができる。
事務事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児相談…保護者からの電話及び面接相談に、歯科衛生士、管理栄養士、保健師の専門職が対応します。 ・スクスク子育て相談室…乳幼児の保護者の相談に、歯科衛生士、管理栄養士、保健師の専門職が対応します。乳幼児の身体測定が自由にできます。 ・健康教育…主にまちかど講座として専門職の講師を派遣します。 ・卒乳等のチラシを乳幼児が7か月になる月に送付します。 ・赤ちゃんサロン…保護者同士の交流を通して情報交換・仲間づくりができる場を提供します。 				
改善・対策の履歴	スクスク子育て相談室、赤ちゃんサロン、乳幼児相談のPRは、母子健康手帳交付時、広報、市ウェブサイトに加え、ママフレでのPRをスタートさせました。健康教育は、平成25年度は歯科のテーマの3講座を再開しました。				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	9,600	10,595	10,743	10,614	11,120
財源計	402	326	474	345	473
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	402	326	474	345
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	9,198 (1.46)	10,269 (1.63)	10,269 (1.63)	10,269 (1.63)	10,647 (1.69)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	スクスク子育て相談室	見込	1,230.00	1,240.00	1,250.00	1,260.00
			実績	1,244.00	1,368.00	1,307.00	
	指標名 (単位)	スクスク子育て相談実施 人数(人)	活動の総事業費 (千円)	1,487	1,452	1,489	
			活動にかかるコスト (千円)	1.20	1.06	1.14	
活動2	活動名 (活動内容)	赤ちゃんサロン	見込	710.00	710.00	710.00	710.00
			実績	269.00	481.00	578.00	
	指標名 (単位)	赤ちゃんサロン参加者 数(組)	活動の総事業費 (千円)	323	283	157	
			活動にかかるコスト (千円)	1.20	0.59	0.27	
活動3	活動名 (活動内容)	健康教育	見込	1,960.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
			実績	2,564.00	2,410.00	1,993.00	
	指標名 (単位)	健康教育受講者数(人)	活動の総事業費 (千円)	2,372	1,804	1,911	
			活動にかかるコスト (千円)	0.93	0.75	0.96	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	スクスク子育て相談件数(件)		目標	1,230.00	1,240.00	1,250.00	1,260.00
			実績	1,244.00	1,368.00	1,307.00	
		目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	1,260.00	達成状況	達成
成果2	赤ちゃんサロン参加者数(組)		目標	710.00	710.00	710.00	710.00
			実績	269.00	481.00	578.00	
		目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	710.00	達成状況	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	乳幼児相談は平成25年度は2,091件となっており、目標1800件を達成しています。赤ちゃんサロンは、保護者同士の情報交換などの交流の場になっています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	【スクスク子育て相談室】予約不要の計測希望者や歯科相談が減少して全体の参加者数が減少したことにより、活動コストが上がりました。 【赤ちゃんサロン】参加者数が増えたことで、活動のコストが減少しました。 【健康教育】園での受講希望は増えましたが、子育て支援センター等での開催数が減少し、全体の受講者数が減少したため、活動コストが上がりました。	
成果	スクスク子育て相談の実施人数は、保健と栄養の相談が毎年多く推移していることから、目標に達しています。 赤ちゃんサロンは、H25年度より対象者のPR方法を全戸訪問時のチラシを配布することに変更して、参加者人数は、増加しています。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
スクスク子育て相談室・赤ちゃんサロン・乳幼児相談は、母子健康手帳交付時に渡す事業案内や広報、各事業でのPRを継続します。赤ちゃんサロンは詳細のスケジュールや内容を周知し、参加しやすくしていきます。また、健康教育は生涯学習課のまちかど講座として申し込みを継続実施し、ニーズにあわせて子育てや歯科の内容の充実を図り、乳幼児の健やかな成長に役立つ情報の提供をしていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	乳幼児の健やかな成長に役立つ情報提供が適宜していけるよう相談・教育事業を継続実施していきます。 子育て支援課の事業とも連携し、市全体として相談や交流の場の提供を継続実施します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	352	課	健康推進課	係	母子保健係	起案者	横井里沙
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名					事業種別	市民サービス	
乳幼児疾病防止事業							

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり			予算科目(会計)	一般会計	
	1 健康			予算科目(款・項・目)	20-5-40	
	2 母子保健			総合計画以外の計画	第2次健康日本21安城計画	
	3 子育て環境の整備			関連する総合計画の施策		
	2 疾病や事故防止への知識の啓発			性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	母子保健法 第1条・第5条、第9条				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	その他(安城市歯科医師会)			
実施期間	開始	平成25年度	経過	24年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	幼児とその保護者が		~になる	歯の健康に関心をもてる。	
事務事業の内容	【2歳児の歯科健診とフッ化物塗布】安城市歯科医師会が行う市内在住の2歳児を対象とした年2回の歯科健診、相談及びフッ化物塗布に会場協力と職員の派遣をします。 【よい歯の歯のコンクール】市内在住の5歳児を対象に、う蝕がなく歯並びの良い園児の表彰式を安城市歯科医師会と共催で年1回開催します。					
改善・対策の履歴	歯科医師会主催の2歳児の歯科健診とフッ化物塗布事業については、1歳6か月児健診の歯科健診結果で要観察となった児あてに、平成25年度から2歳児の歯科健診とフッ化物塗布の案内を送付し、周知しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,333	889	933	896	1,378
財源計	73	70	114	77	118
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	73	70	114	77
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	1,260 (0.20)	819 (0.13)	819 (0.13)	819 (0.13)	1,260 (0.20)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	2歳児の歯科健診とフッ化物塗布	見込	600.00	600.00	600.00	600.00
			実績	485.00	424.00	383.00	
	指標名 (単位)	参加人数(人)	活動の総事業費 (千円)	378	252	252	
			活動にかかるコスト (千円)	0.78	0.59	0.66	
活動2	活動名 (活動内容)	よい児の歯のコンクール	見込	600.00	600.00	600.00	640.00
			実績	514.00	522.00	588.00	
	指標名 (単位)	表彰者数(人)	活動の総事業費 (千円)	955	637	644	
			活動にかかるコスト (千円)	1.86	1.22	1.10	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	3歳児健診でう蝕のある児の率(%)			目標	10.00	10.00	10.00	12.20
				実績	14.20	13.00	13.90	
	目標達成年度	平成35年度	目標成果指標値	5.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>2歳児の歯科健診とフッ化物塗布はう蝕の予防だけでなく、歯科保健の啓発とかかりつけ歯科の推進の役割を果たしています。</p> <p>2歳児の歯科健診とフッ化物塗布とよい児の歯のコンクールは、市と歯科医師会及び歯科衛生士会が連携し事業を開催することにより、幼児のう蝕の問題点や予防するための課題を共有し検討する機会にもなっています。</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	2歳児の歯科健診とフッ化物塗布は受診者が減ったため、コストが上がっています。受診者が減った要因としては、かかりつけ歯科医を持つ児の割合が1歳6か月児健診でH23年度13.2%、H24年度18.2%、H25年度18.4%、3歳児健診でH23年度44.2%、H24年度46.2%、H25年度50%とそれぞれ増加したことが考えられます。よい児の歯のコンクールは、受賞者が増えたため、コストが下がりました。
成果	目標達成には至っていませんが、平成15年度21.7%、平成20年度16.3%と10年前から比較すると減少しており、本事業を含む一連の歯科保健事業により改善傾向にあります。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>歯科医師会が行う2歳児歯科健診とフッ化物塗布を市民がうまく利用し、3歳児のう蝕有病者率の減少につながるよう引き続き歯科医師会への協力と市民への周知をしていきます。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	乳幼児の保護者が歯の健康への関心を持ち、実践できるよう歯科医師会・歯科衛生士会と連携し、取り組んでいきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	353	課	健康推進課	係	母子保健係	起案者	竹中由美
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	母子食育推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 2 母子保健 3 子育て環境の整備 3 食育の推進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-5-40	
				総合計画以外の計画	第2次健康日本21安城計画他	
				関連する総合計画の施策	2-1-2-3-3	
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	母子保健法 第1条、第5条、第9条				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成09年度	経過	17年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	妊産婦と乳幼児及びその保護者が		~になる	食生活に関心を持ち、望ましい食生活を送ることができる	
事務事業の内容	妊産婦・乳幼児が健康的な食生活をおくることができるようになるための食育推進事業を行います。マタニティクッキング(H26年度より妊婦さんの栄養教室に変更)、離乳食講習会(ゴックン教室、カミカミ教室)、3歳の栄養教室を開催し、その他公民館教室や育児サークル等からの講義依頼を受け、管理栄養士を派遣します。					
改善・対策の履歴	ゴックン教室・カミカミ教室ではH26年度より参加後アンケートが実施できるよう、アンケートを作成しました。3歳の栄養教室では予約が入りにくい6~7月開催分の予約期間に3歳児健診の栄養相談の場で対象者に積極的に声をかけていくようにしました。マタニティクッキングは参加者人数の増加を図るため実施方法を検討し、平成26年度からの新しい教室を準備しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	5,842	5,728	5,885	5,903	6,391	
財源計	1,306	1,192	1,349	1,367	1,351	
財源の内訳	国庫支出金	537	568	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他()	73	73	141	75	38
	一般財源	696	551	1,208	1,292	1,313
受益者負担金	73	73	141	75	38	
職員人件費(従事職員数)	4,536 (0.72)	4,536 (0.72)	4,536 (0.72)	4,536 (0.72)	5,040 (0.80)	
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	マタニティクッキング	見込	110.00	110.00	110.00	110.00
			実績	62.00	74.00	66.00	
	指標名 (単位)	妊婦参加人数(人)	活動の総事業費 (千円)	1,103	1,220	1,094	
			活動にかかるコスト (千円)	17.79	16.49	16.58	
活動2	活動名 (活動内容)	ゴックン教室	見込	700.00	700.00	700.00	700.00
			実績	611.00	631.00	617.00	
	指標名 (単位)	参加者数(人)	活動の総事業費 (千円)	1,337	1,236	1,212	
			活動にかかるコスト (千円)	2.19	1.96	1.96	
活動3	活動名 (活動内容)	カミカミ教室	見込	525.00	525.00	525.00	525.00
			実績	528.00	497.00	502.00	
	指標名 (単位)	参加者数(人)	活動の総事業費 (千円)	1,334	1,204	1,136	
			活動にかかるコスト (千円)	2.53	2.42	2.26	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	カミカミ教室の参加率(%)			目標	24.00	24.00	25.00	23.90
				実績	26.30	23.70	25.70	
	目標達成年度	平成35年度	目標成果指標値	26.00	達成状況	達成	未達成	達成
成果2	妊娠期の貧血率(%)			目標	48.00	48.00	48.00	47.30
				実績	46.00	47.60	43.49	
	目標達成年度	平成35年度	目標成果指標値	45.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	H25年度の3歳の栄養教室のアンケート結果では参加者の満足度が「大変満足」及び「満足」と評価した人が97%以上になりました。参加者からは「子どもが自分で料理を作る体験ができて良かった」「今まで食べなかった食品を食べることができた」などの感想をいただきました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	マタニティクッキングは台風の影響により1回中止になったため、参加人数が減少したため活動コストが上がりました。ゴックン教室は参加人数と総事業費が共に減少しましたので、活動コストは横ばいでした。参加人数が若干増加したため、活動コストは減少しました。
成果	妊娠期の貧血率は妊婦健診の内容の変更により貧血検査の時期及び回数が変更になったため、目標は妊娠32週での貧血率、実績は妊娠30週での貧血率が表記されています。そのため達成状況については達成となりました。平成26年度からの目標値は現在の検査時期に合わせた数値になっています。カミカミ教室の対象児保護者へPRし、参加率が上昇したため、目標を達成できました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
平成26年度より参加者の増加を目指すため、「マタニティクッキング」を「妊婦さんの栄養教室」に変更し、気軽に参加できるように内容も調理実習から調理デモの見学へと変更します。参加者の意見を反映させながら、より妊婦のかたが参加しやすい教室にしていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	各教室がよりよい食生活を送るための良い機会となるよう、改善をしながら継続していきます。また参加しやすい教室にするため、対象者の希望に応じた内容となるように、工夫していきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	354	課	健康推進課	係	母子保健係	起案者	岡田賀子
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	思春期保健事業			事業種別	市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 2 母子保健 4 思春期の保健対策 2 学校保健等と連携した健康教育			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-5-40	
				総合計画以外の計画	第2次健康日本2 1 安城計画他	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	母子保健法 第1条・第5条、第9条、第10条、				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	H20.9.8定例会答弁思春期事業 思春期保健相談ルーム開催日時頻度相談内容について				
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成19年度	経過	7年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	思春期の児童・生徒、またはその保護者が		~になる	思春期における知識を得る。悩みや不安を相談、解決できる。	
事務事業の内容	思春期保健相談ルーム…思春期の健康の悩みや不安について正しく学び行動できるよう思春期保健相談士が相談に応じます。 思春期教育…小中学校、高校と連携した発達段階に応じた健康教育を行います。 また、市内幼・保育園での性の絵本の貸し出し等事業を実施します。 会議…「学齢期保健を進める連絡会議」を年2回程度開催し、幼稚園・保育園、小・中学校、高校及び関係機関と連携を深めます。					
改善・対策の履歴	中学校3年生および高校生を対象にした、外部講師派遣による健康教育の実施への働きかけを、安城市中高生生徒指導連絡協議会にて研修会を実施し必要性を伝えました。 市内公立幼・保育園での性の絵本の貸し出し事業は、活用していただいている24園に絵本の活用状況についてアンケートを実施し、市内すべての保育園・幼稚園へ結果を送付し、未実施園への利用開始を促すための動機付けとしました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,306	4,010	3,420	3,187	4,016
財源計	290	482	522	289	992
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	191	0	0
	一般財源	290	291	522	289
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,016 (0.32)	3,528 (0.56)	2,898 (0.46)	2,898 (0.46)	3,024 (0.48)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	思春期保健相談	見込	6.00	7.00	7.00	7.00
			実績	6.00	7.00	8.00	
	指標名 (単位)	相談士数(人)	活動の総事業費(千円)	758	745	651	
			活動にかかるコスト(千円)	126.33	106.43	81.38	
活動2	活動名 (活動内容)	思春期保健教育	見込	14.00	15.00	18.00	20.00
			実績	9.00	18.00	16.00	
	指標名 (単位)	講師派遣回数(回)	活動の総事業費(千円)	910	2,632	1,874	
			活動にかかるコスト(千円)	101.11	146.22	117.13	
活動3	活動名 (活動内容)	思春期保健相談	見込	120.00	120.00	100.00	100.00
			実績	92.00	98.00	80.00	
	指標名 (単位)	相談件数(件)	活動の総事業費(千円)	638	638	662	
			活動にかかるコスト(千円)	6.93	6.51	8.28	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	思春期保健相談士の設置(人)		目標	6.00	7.00	7.00	7.00
			実績	6.00	7.00	8.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	8.00	達成状況	達成	達成
成果2	健康教育講師派遣回数(回)		目標	14.00	15.00	18.00	20.00
			実績	9.00	18.00	16.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	22.00	達成状況	未達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>思春期健康教育を受講した生徒たちのアンケートから、「性」へのイメージが大きく変わっており、自分には関係ないことではなく、大切なこととして受け止められていることがわかりました。また、受け継がれてきた命の大切さを実感していました。実施していただいた学校と事前に打ち合わせをすることで、教育内容を深めることができ上記のような成果が得られました。幼・保育園での性の絵本の貸し出しなど活用状況のアンケートを実施し、23園中21園で活用されており、活用状況についての意見が得られました。</p>
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<p>思春期保健相談士は、思春期保健セミナーコース1、2を受講し1名増えましたが、総事業費が減ったため活動コストは下がっています。思春期保健相談は相談件数が減ったため単価コストが上がっています。健康教育講師派遣は回数は減り、人件費が減ったため活動コストが下がっています。</p>
成果	<p>健康教育については、外部講師派遣による教育を開始し3中学校での実施でしたが、1中学校では希望により、クラス単位で8回実施しましたが、目標の18回には達していません。思春期保健相談は長期休暇前にチラシによる相談窓口の周知とテーマ別の啓発をしていますが、相談件数は減少しています。</p>

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>外部講師派遣による「命と性を考える」教育を、実施したことの効果を各中学校に個別に周知し、学校教育課や各中学校と調整を図り全中学校で実施できるようにしていきます。</p> <p>市内公立幼・保育園での性の絵本の貸し出し事業については、各園の状況を踏まえ未実施の園に対しての働きかけをすとも、実施している園については、さらに活用していただくように働きかけをしていきます。「学齢期保健を進める連絡会議」を学齢期の取り組みを進めていくための会議として関係機関と連携して開催していきます。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>今後も幼稚園・保育園や学校と協働で思春期保健の取り組みを進めていきます。</p>

事務事業調書

平成26年度

事業No	936	課	健康推進課	係	母子保健係	起案者	柏木秋子
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	赤ちゃん訪問事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 2 母子保健 3 子育て環境の整備 1 育児相談体制、情報提供の充実			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-5-40	
				総合計画以外の計画	第2次健康日本2 1 安城計画ほか	
				関連する総合計画の施策	2-2-3-1-2	
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	母子保健法 第1条、第5条、第11条、第17条、第18条、第19条、児童福祉法 第21条の9				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	H22、9、7定例会答弁 赤ちゃん訪問の実績と意義				
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成21年度	経過	5年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	妊婦、乳幼児及びその養育者が		~になる	育児不安を軽減し、子育て支援サービスを知ることができる。	
事務事業の内容	【赤ちゃん訪問】保健師や赤ちゃん訪問員により生後4か月を迎えるまでの乳児を養育する全家庭を訪問し、育児不安の軽減を図ります。支援が必要な家庭を発見し、養育支援訪問事業による支援につなげていきます。 【未熟児訪問】未熟児の健やかな発育・発達を支援するため、より専門的な訪問指導を行います。 【その他の訪問】母子健康手帳交付等から保健指導が必要と認めた妊産婦や、乳幼児健診未受診児や健診等の各事業から保健指導が必要と認めた児に対して保健師による訪問指導を行います。					
改善・対策の履歴	赤ちゃん訪問の拒否者に対しては、引き続き状況把握に努め、子育て支援課と相談し、兄弟がいれば就園状況を確認する等の対応を考えました。職員の技術向上のために、ケース検討を継続して行いました。医療機関からの情報提供を受け取り、1週間以内に家庭へ連絡をとることを徹底したため、適切な時期に訪問できるようになりました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	22,272	21,645	23,159	21,881	23,951	
財源計	9,357	9,297	10,244	8,966	10,280	
財源の内訳	国庫支出金	4,646	6,720	4,873	0	0
	県支出金	21	60	38	4,452	4,333
	市債	0	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0	0
	一般財源	4,690	2,517	5,333	4,514	5,947
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費(従事職員数)	12,915 (2.05)	12,348 (1.96)	12,915 (2.05)	12,915 (2.05)	13,671 (2.17)	
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	赤ちゃん訪問	見込	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
			実績	1,988.00	2,092.00	1,906.00	
	指標名 (単位)	訪問実施数(家庭)	活動の総事業費(千円)	12,465	12,145	11,851	
			活動にかかるコスト(千円)	6.27	5.81	6.22	
活動2	活動名 (活動内容)	その他の訪問	見込	2,200.00	2,200.00	2,200.00	2,200.00
			実績	2,502.00	2,659.00	2,411.00	
	指標名 (単位)	訪問実施数(人)	活動の総事業費(千円)	9,807	9,500	10,030	
			活動にかかるコスト(千円)	3.92	3.57	4.16	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	赤ちゃん訪問実施率(%)			目標	90.00	95.00	95.00	99.00
				実績	99.40	99.50	99.50	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	その他の訪問実施数(人)			目標	2,200.00	2,200.00	2,200.00	2,300.00
				実績	2,502.00	2,659.00	2,411.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	2,300.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	訪問時に「安心しました」「悩みが解消できました」「地域の子育てサービスはよくわかりました」など子育ての不安が軽減されたというご意見をいただいています。また逆に、「家に来られるのは嫌」「入院中」という理由で訪問ができなかった家庭もありましたが、状況把握に努めました。赤ちゃん訪問により発見した、要支援家庭はケース対応会議にて支援計画を立て、養育支援訪問事業を実施しています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	訪問件数は減っていますが、未熟児訪問がスタートし、病院からの情報提供件数が増えたため、職員の人件費が増え、活動コストが上がっています。その他の訪問は、乳幼児健診未受診児の家庭に夜間訪問や若年妊婦等の要支援家庭への訪問を実施し、訪問件数は減りましたが、1家庭の訪問時間が長くなることもあり、活動コストは上がりました。
成果	赤ちゃん訪問は、全戸訪問として対象者への周知が図られてきたこと、また過去3年間の経験を踏まえ訪問に消極的な家庭への対応に工夫ができたことが高い実施率の維持につながり、目標を達しています。その他の訪問では、乳幼児健診未受診児への健診勧奨訪問をしたこと、また来所や電話での相談だけでなく、家庭訪問による保健指導を積極的に実施しましたので目標達成を維持できました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
赤ちゃんの全戸訪問を継続し、また訪問拒否者への状況把握を引き続き実施していきます。未熟児訪問では、医療機関からの情報提供に基づき、迅速な対応を継続します。適切な保健指導が行えるよう訪問を実施していきます。その他の訪問は、母子健康手帳交付時や母子保健事業の中で、援助が必要な人をもれなく把握し、適切な保健指導ができるよう、努めていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	赤ちゃん訪問では、虐待予防・虐待の早期発見だけでなく、悩みや不安を軽減するために、家庭状況を把握し、適切に保健指導が実施できるよう継続実施していきます。母子健康手帳交付時や母子保健事業にて把握した支援が必要な家庭への訪問指導を行うとともに、乳幼児健診未受診にも引き続き積極的に訪問し受診勧奨に努めます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	356	課	健康推進課	係	母子保健係	起案者	壁谷依世
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	不妊治療支援事業			事業種別	市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 2 母子保健 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)	一般会計
				予算科目(款・項・目)	20-5-40
				総合計画以外の計画	第2次健康日本21安城計画、第3次安城計画
				関連する総合計画の施策	2-1-2-9-9
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	無				
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				
実施方法	直営	委託先			
実施期間	開始	平成18年度	経過	8年目	終了
求める成果(目的)	誰(受益者)が	不妊検査及び治療を受けている夫婦が		~になる	治療費の経済的負担が軽減され、治療を受けやすくなる。
事務事業の内容	不妊に悩んでいる夫婦に対し、経済的な負担を軽減するために、一般不妊治療の助成をしています。1夫婦1年度につき一般不妊検査・治療、人工授精に要した費用の自己負担額の2分の1(上限5万円)を、継続する2年間助成します。				
改善・対策の履歴	平成24年度から県補助対象が人工授精のみと縮小となりましたが、市として引き続き今までどおりのホルモン療法等も加えて助成を行っています。申請期間周知のため広報に掲載し、医療機関へ通知しています。また、市ウェブサイトでの周知も行っています。				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	12,916	9,873	12,322	11,668	12,259	
財源計	10,837	8,550	10,999	10,345	10,999	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	4,793	1,338	1,716	1,425	1,281
	市債	0	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0	0
	一般財源	6,044	7,212	9,283	8,920	9,718
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	2,079 (0.33)	1,323 (0.21)	1,323 (0.21)	1,323 (0.21)	1,260 (0.20)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	不妊治療費助成	見込	300.00	300.00	300.00	270.00
			実績	345.00	276.00	311.00	
	指標名 (単位)	申請件数(件)	活動の総事業費 (千円)	12,916	9,873	11,668	
			活動にかかるコスト (千円)	37.44	35.77	37.52	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	申請件数(件)			目標	300.00	300.00	300.00	270.00
				実績	345.00	276.00	311.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	270.00	達成状況	達成	未達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	不妊治療を受けやすい環境をつくることで、不妊に悩む夫婦の精神的なストレスと経済的負担が軽減されました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	H24年度は1件あたりの助成額が減り、単位コストが下がりましたが、H25年度は1件あたりの助成額が増え、単位コストが上がりました。
成果	妊娠件数はH23年度98件、H24年74件、H25年88件となっており、妊娠率(妊娠件数/申請件数×100)としてはH23年度28.4%、H24年度26.8%、H25年度28.2%となっています。県補助対象の人工授精による妊娠率はおおよそ10%といわれていますが、市上乗せとして、ホルモン療法等の不妊治療の早期段階の治療も補助対象としており、人工授精のみよりも高い妊娠率を得ることができています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
県補助金の縮小に合わせず、現行の助成を平成26年度についても継続して実施することとします。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	不妊に悩む夫婦を支援するため経済的負担となる不妊症治療の助成を今後も行っていきます。